

2026 年度 酪農学研究科 博士課程 第 1 期入学試験問題

(必修： 英語)

【解答又は解答例】

I. 次の英文を読み、以下の問①～④に答えよ

① 下線部(1)について、この段落では海洋の水温上昇の原因は何によると説明されているか、述べなさい[20 点]

1970 年代以降、温室効果ガスの排出によって生じた余分な熱の 93%以上を海洋が吸収していることが明らかとなったことからわかるように、化石燃料の消費によって大気中の温室効果ガスの濃度が増加した結果、海洋は莫大な量の熱を吸収したため、海水温は上昇したと考えられる。

② 下線部(2)を和訳せよ [10 点]

海洋が余分な熱を吸収する能力は、より急速な気候変動から人類を守ってきた。この海洋の緩衝作用がなければ、地球の気温は現在よりもはるかに上昇していただろう。

③ 下線部(3)を和訳せよ [20 点]

海洋の温暖化は、海洋中に溶け込んでいる酸素の量が減少する脱酸素化や、海水の熱膨張や大陸氷の融解による海面上昇を引き起こす。気温の上昇とともに、海洋の酸性化 (CO₂ の吸収による海洋の pH 低下) は、海洋生物や生態系に影響を及ぼし、その結果として人類が海から得ている根本的な恩恵にも影響を与える。

II. 受験者の修士研究の要旨あるいは博士課程における研究計画のいずれかについて、

40 語以上の単語を用いて英文にて示せ [50 点]

In my doctor's program, I aim to elucidate the behavioral traits of brown bears living on the urban outskirts of Sapporo City, Hokkaido—known as "urban bears"—by examining their potential reduced wariness toward humans. I plan to accomplish this by tracking the movements of individuals equipped with GPS collars.